

岡山市の財政状況

水と緑が魅せる心豊かな
庭園都市おかやまをめざして

2010年10月25日 合同IR 説明会資料



目次

i.	岡山市のすがた	・・・2	iii.	めざす都市像	・・・20
●	岡山市の概要		●	都市ビジョン『新・岡山市総合計画』	
●	岡山市の特徴		●	平成22年度一般会計当初予算	
●	1市4町による大規模合併		●	今後の主要な施策	
●	政令指定都市という新しいステージへ		iv.	市債発行の方針	・・・28
ii.	岡山市の財政状況	・・・8	●	今後の起債運営	
●	平成21年度普通会計決算		●	市場公募地方債の発行	
●	歳入確保に向けて				
●	義務的経費の推移				
●	職員数の削減と適正化				
●	市全体の借金				
●	土地開発公社の経営健全化				
●	財政指標の推移				
●	健全化判断比率等は基準をクリア				
●	これまでの行財政改革				
●	今後の行財政改革				
●	行財政改革の目標				

i 岡山市のすがた

- 岡山市の概要
- 岡山市の特徴
- 1市4町による大規模合併
- 政令指定都市という新しいステージへ

岡山市の概要

■ 人口

700,150人 (H22.8末現在)【住民基本台帳人口及び外国人登録人口】

■ 面積

789.91km²

■ 自然

旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野の中央に位置
南部は地味豊かな沃野、北部は吉備高原につながる山並み

■ 気候

温暖な瀬戸内海特有の風土
快晴の日が多く、台風や雪の影響が少ない

■ 名産

「果物王国」岡山市は、白桃・マスカットなどの果物が揃い、南部の瀬戸内海では鯖やママカリなどの海の幸が育まれます



岡山市の特徴(都市機能)

中国・四国・近畿を結ぶ交通結節点 — 充実した広域高速交通網 —

- 高速道路網
山陽自動車道、中国横断自動車道(岡山米子線)、瀬戸中央自動車道
- 鉄 道 網
JR岡山駅は新幹線を含む8路線が乗り入れ
- 空 港
国際5路線、国内4路線の岡山空港
(地方空港最長の3,000m滑走路)

医療・福祉、学術・研究の分野で 高い都市機能の集積

- 医 師 数 第2位 (人口10万人あたり)
- 老人福祉施設数 第1位 (65歳以上人口10万人あたり)
- 大 学 生 数 第5位 (人口10万人あたり)



岡山市の特徴(住民生活)

地域ボランティアの活動が活発

- 民生委員 1,194名
- 愛育委員 5,404名
- おやこクラブ 4,881名

※平成22年度保健衛生年報などより

- 岡山県は民生委員・愛育委員の発祥の地
- 「こんにちは赤ちゃん事業」などで地域ボランティアが積極的に子育て支援を行っていたり、各種研修会・交流会なども実施

住みやすい生活環境

- 保育所数 第3位 (人口10万人あたり)
- 文化施設数 第3位 (人口10万人あたり)
- 都市公園面積 第2位 (都市計画区域人口1人あたり)
- 家賃(民営借家)の安さ 第2位
- 平均通勤時間の短さ 第4位
- 百貨店・総合スーパー数 第3位 (人口10万人あたり)

政令指定都市で
比較して

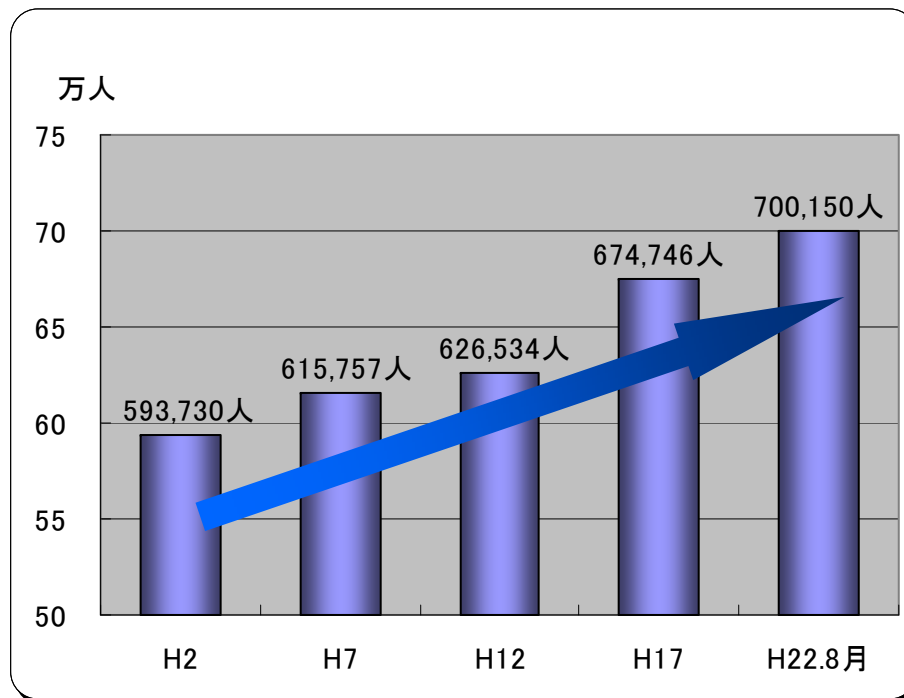
※総務省「公共施設状況調査」、経済産業省「商業統計調査」などによる



1市4町による大規模合併

- 政令指定都市移行を視野に入れた合併構想の実現
- 人口規模は拡大し、70万人を突破

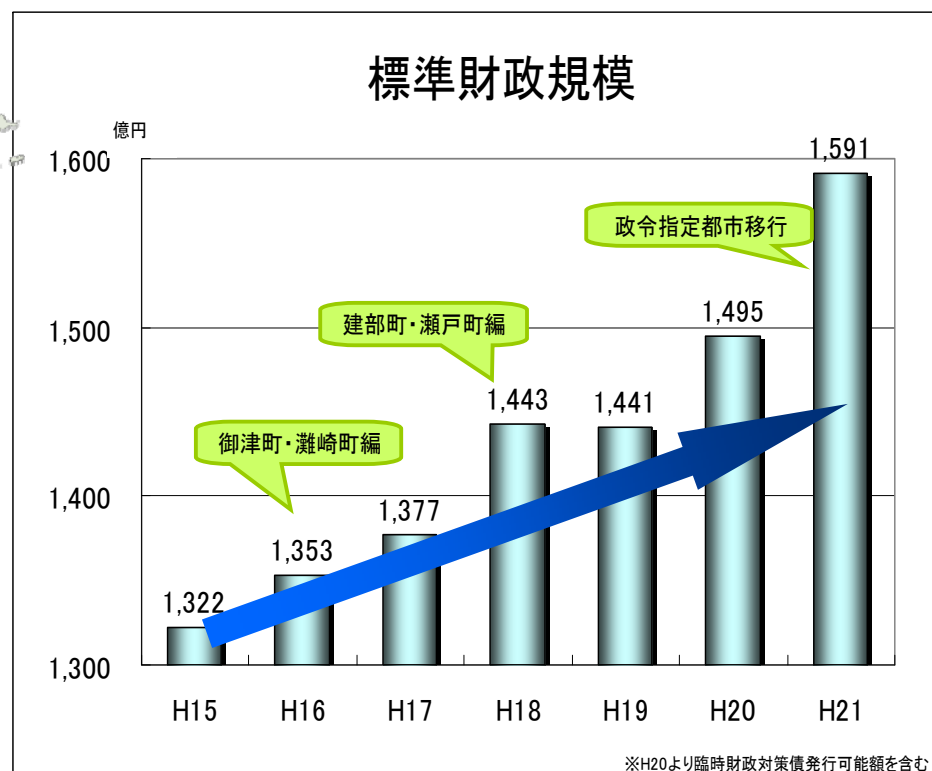
- ◇H17.3.22 御津町・灘崎町と合併
- ◇H19.1.22 建部町・瀬戸町と合併



※H2～H17年は国勢調査
H22.8月は住民基本台帳人口及び外国人登録人口

政令指定都市という新しいステージへ

- 全国18番目の政令指定都市へ移行(H21.4.1)
- 一般財源の標準的な規模は大幅に拡大



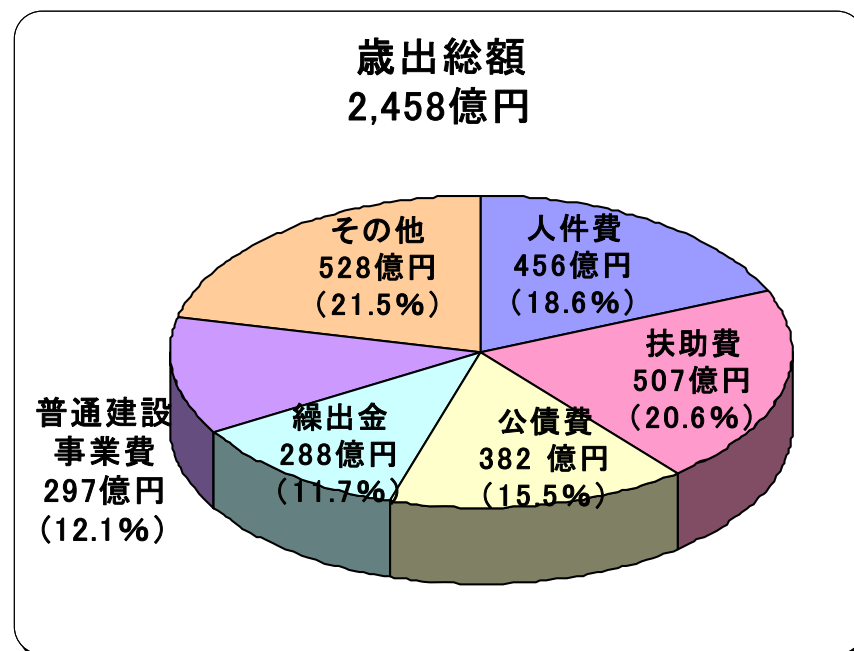
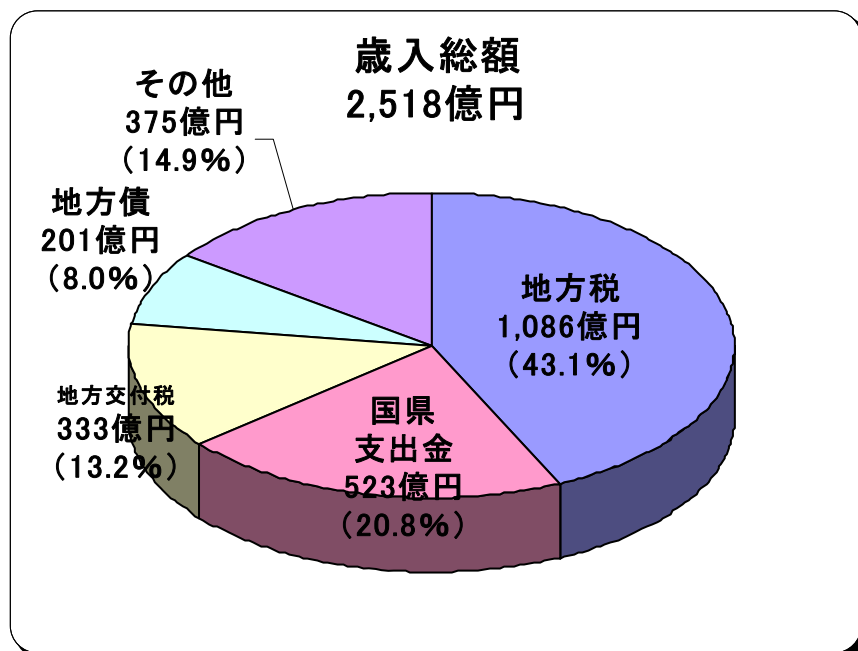
※H22.4.1から相模原市が政令指定都市へ移行

ii 岡山市の財政状況

- 平成21年度普通会計決算
- 歳入確保に向けて
- 義務的経費の推移
- 職員数の削減と適正化
- 市全体の借金
- 土地開発公社の経営健全化
- 財政指標の推移
- 健全化判断比率等は基準をクリア
- これまでの行財政改革
- 今後の行財政改革
- 行財政改革の目標

平成21年度普通会計決算

- 地方税収入は1,086億円となり、自主財源比率は50.6%
- 人件費、扶助費、公債費の義務的経費が全体の54.7%を占める



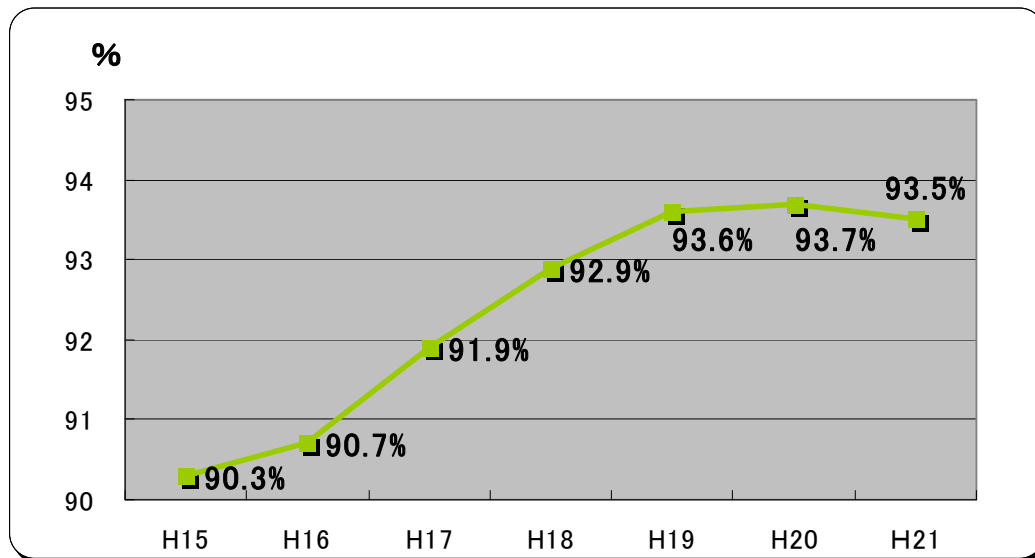
主な財政指標等

- 経常収支比率 90.5%
- 実質公債費比率 17.0%

歳入確保に向けて

- 市税収入は、景気低迷などにより減収になっているが、徴収率は現状を維持し、引続き歳入確保に努めています
- さらなる歳入確保に向けて、積極的な取り組みを推進

市税徴収率の推移



徴収率向上と滞納額圧縮へ

- ◇市長を本部長とする「岡山市市税等滞納整理強化対策本部」を設置
市長自らも滞納者宅を訪問
- ◇県の滞納整理推進機構への参加
- ◇収納部門(税・料金)の一体的な滞納整理の推進→料金課(H19から)

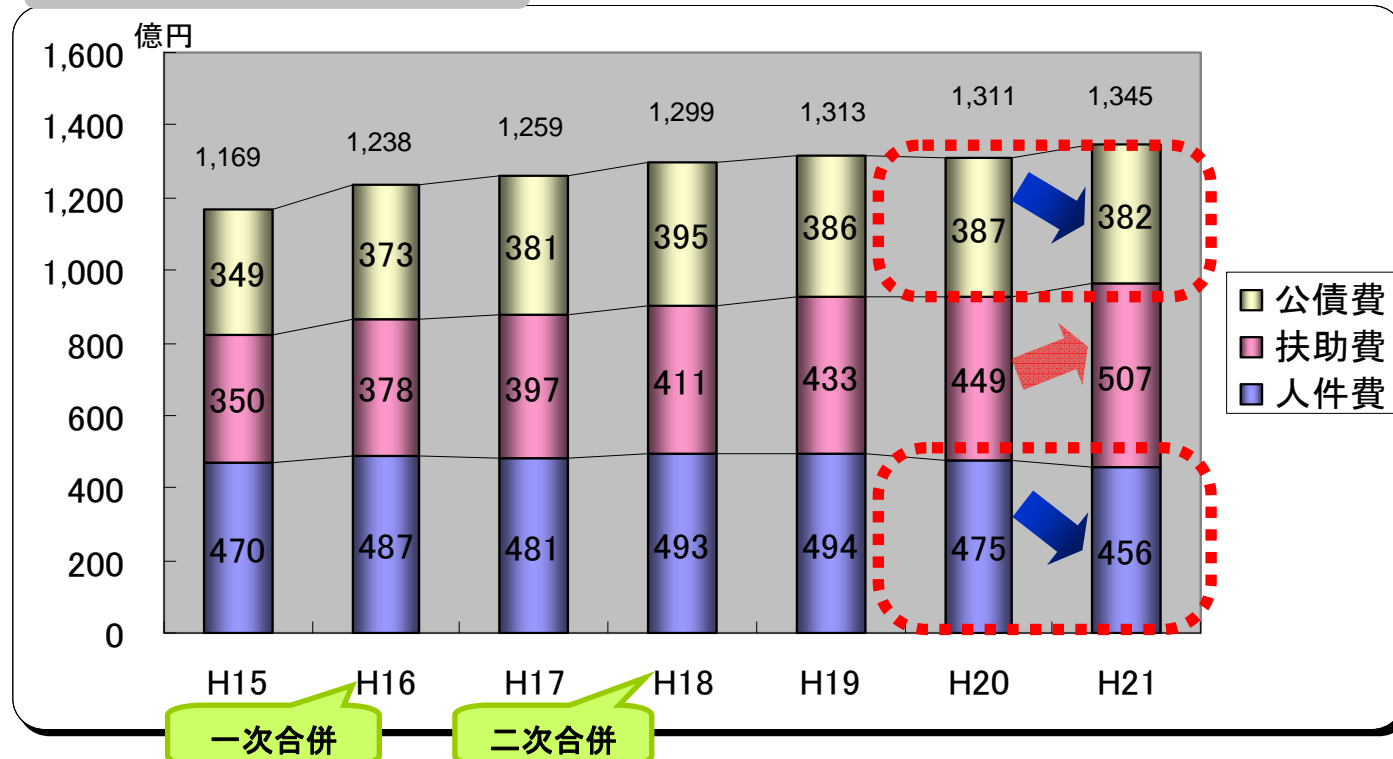
さらなる歳入確保

- ◇未利用地の有効活用(貸付・売払)
- ◇自動販売機の販売手数料の徴収(H22)
- ◇広告収入の確保 等
- ◇都市基盤整備による民間投資・企業立地の促進など市全体として増収につながる施策を推進

義務的経費の推移

- 扶助費は、政令市移行に伴い県から委譲された事業(児童養護施設への助成など)や生活保護費等により増加傾向
- 人件費・公債費は行財政改革などの効果により抑制

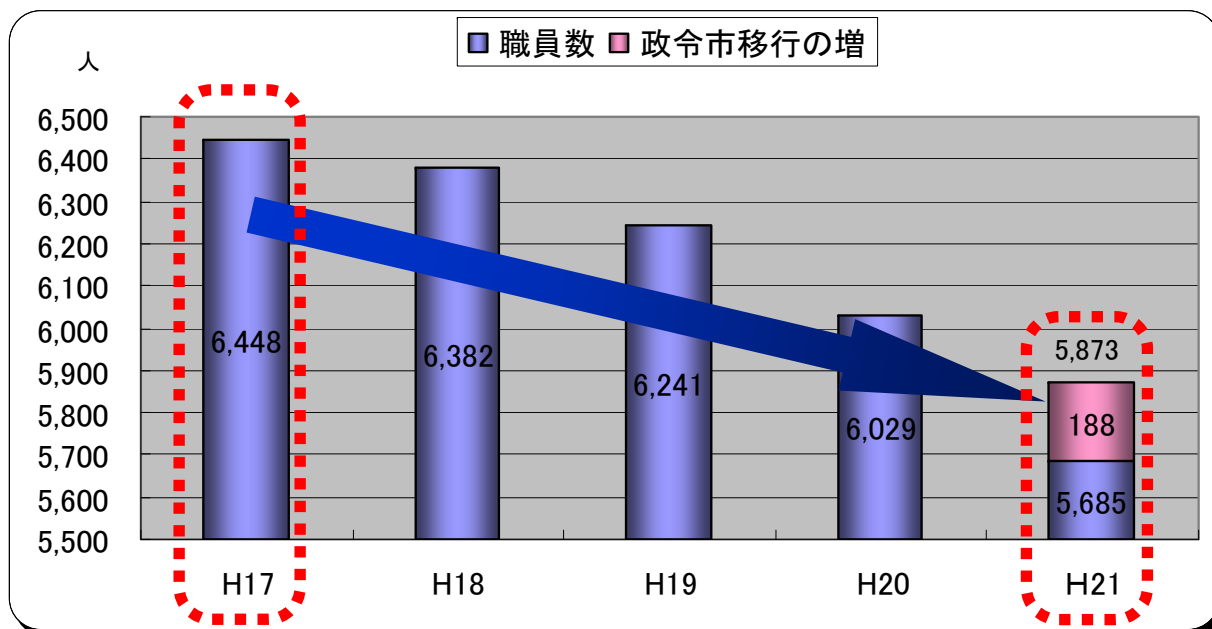
義務的経費の推移



職員数の削減と適正化

- 職員採用凍結などにより職員数を削減し、人件費総額を抑制

職員数の推移



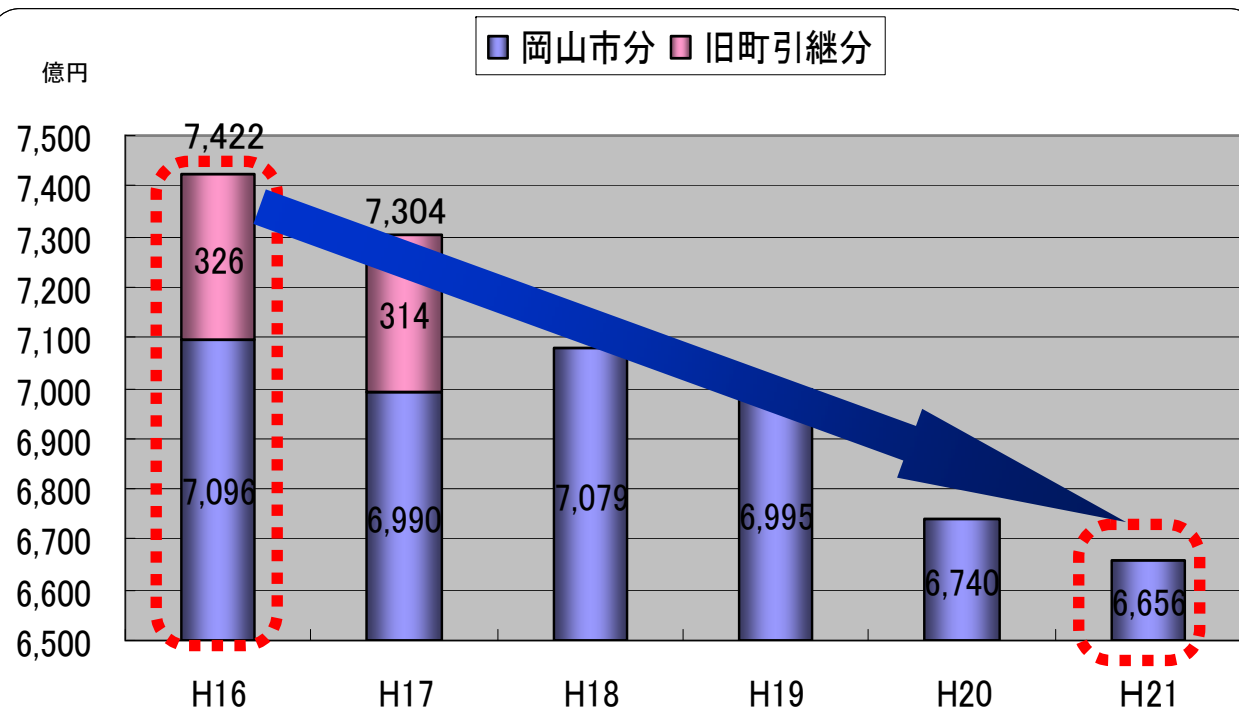
● 職員数の適正化についてH17に策定した集中改革プランでH22.4までに10%削減を目標

● 政令指定都市移行による権限委譲の換算分188人を除くと**763人** (**11.8%**)の削減

市全体の借金

- 合併により増加した市全体の借金は行財政改革により大幅減

市債残高及び債務負担行為額の推移



- 借入額の抑制(全額が交付税算入される市債を除き150億円を目途)

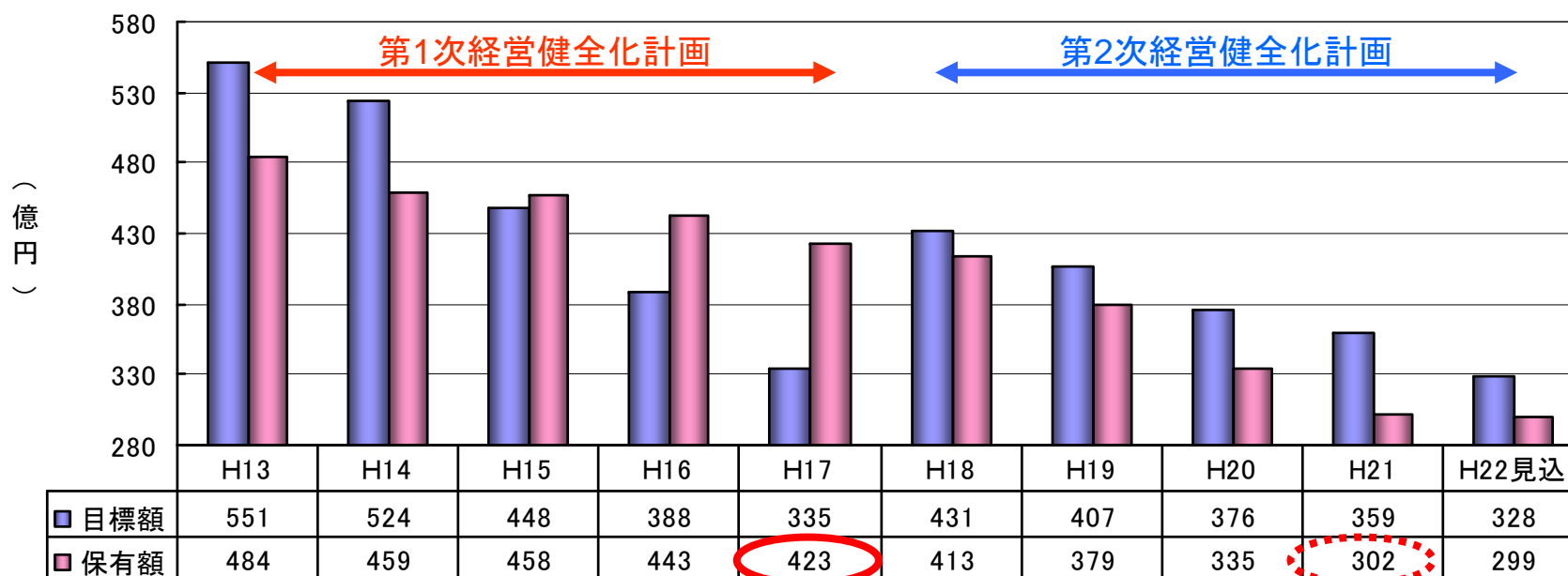
- 土地改良事業の債務負担行為の削減

- 旧岡山市と合併4町から引継いだ借金総額で見ると5年間で**766億円**の減少

土地開発公社の経営健全化

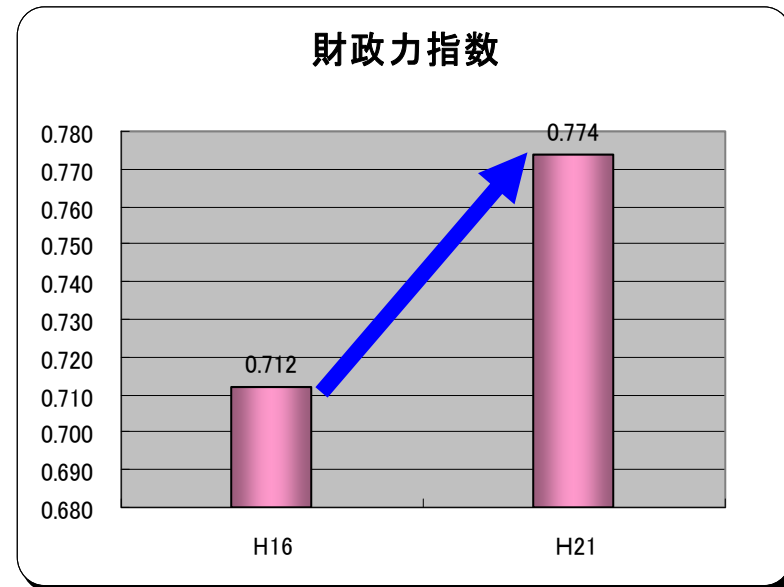
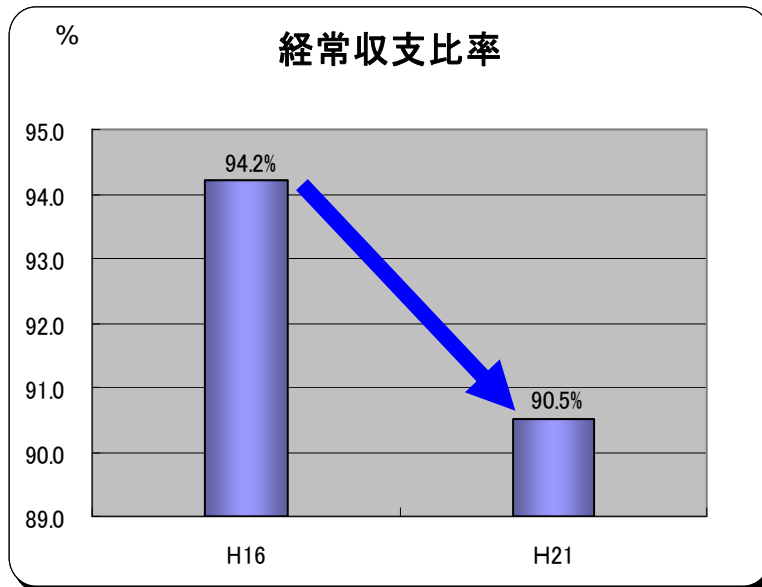
- 土地開発公社の経営健全化を着実に実行
- 土地保有見込額を100億円超の圧縮(H17末⇒H21末)

土地開発公社経営健全化計画の目標額と保有額の推移



財政指標の推移

- 経常収支比率はH16から3.7ポイント改善し、政令市18都市中4番目
- 財政力指数はH16から0.062ポイント向上



※政令指定都市間の比較について
H21年度は、政令指定都市18団体での順位となっています。数値は現時点での速報値で順位付け

健全化判断比率等は基準をクリア

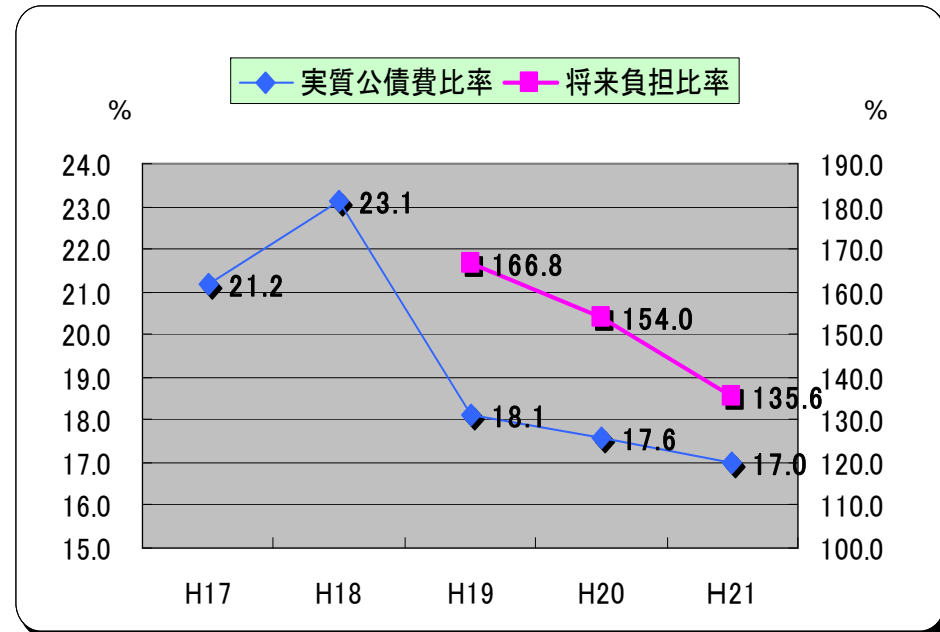
- 前年度に引き続き、実質赤字額、連結実質赤字額はなし
- 実質公債費比率は、18.0%未満であり協議団体
- 将来負担比率は、市の借金の減などにより前年度比18.4ポイント改善

【平成21年度決算に基づく岡山市の健全化判断比率と資金不足比率】

指 標		岡山市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	—	11.25%	20%
	②連結実質赤字比率	—	16.25%	40%
	③実質公債費比率	17.0%	25%	35%
	④将来負担比率	135.6%	400%	
⑤資金不足比率 (公営企業ごと)		下水道事業のみ 2.4%	(経営健全化基準) 20%	

※実質赤字額、連結実質赤字額がない場合は、「—」を記載しています。

※下水道事業は、平成22年4月1日から地方公営企業法の財務規定が適用になり、平成22年3月31日をもって会計年度が終了し、その日をもって出納閉鎖されたため資金不足額が生じた。



これまでの行財政改革

- H19年度から3年間の職員採用凍結を断行
- 『行政サービス棚卸し』を実施し、全ての事務事業の必要性を見直し

新岡山市行財政改革大綱

長期計画編
(H17~H28)

短期計画編
(H17~H21)

- 事務事業の見直し 29億円
- 民間活力の積極的活用 8億円
- 定員及び人事管理の適正化 56億円
- 給与・手当等の適正化 9億円
- 経費節減等の財政効果 36億円
- 市税徴収率の向上 20億円
- 投資的経費の縮減 87億円

短期計画編の取組による財政効果

区 分	期 間	財政効果額
目 標	H17~H21	約200億円
実 績	H17~H20	約245億円

財政効果額を1年前倒しで達成

今後の行財政改革

- 短期計画編は財政効果の目標を達成し、中核市最終年度H20をもって終了
- H21政令指定都市移行に伴い長期計画編の目標値の達成を目指した新・短期計画編を策定

新岡山市行財政改革大綱

長期計画編(H17~H28)

1年前倒しで計画を終了

短期計画編(H17~H20)

新・短期計画編(H21~H26)

新・短期計画編を策定
(平成21年7月)
H21行政サービス棚卸し(事業仕
分け)取組結果を反映し改訂
(平成22年6月)

毎年の取組みにより長期編の目標達成を目指す。

行財政改革の目標

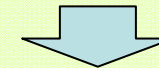
- 平成27年度までに財政的・人事的指標を目標水準へ
- その達成に必要な財政効果額は約170億円

長期計画編の目標値

年 度	H22	H27
経常収支比率	-	政令指定都市 上位程度
実質公債費比率	16%程度	12%程度
人件費比率	18%台	17%台

新・短期計画編の改革事項

- H27.4月までの定員管理の目標
- 事業の選択と集中による市債借入額の抑制
- 市民事業仕分けによる改革事項
- 庁内事業仕分けによる取組等



財政効果額の目標は約170億円

- ① 事務事業の再編・整理、廃止・統合
- ② 負担の公平性の確保、市有財産の有効活用 等

行財政改革を引き続き推進し、ムダのない効率的な行政を実現

iii めざす都市像

- 都市ビジョン『新・岡山市総合計画』
- 平成22年度一般会計当初予算
- 今後の主要な施策

都市ビジョン『新・岡山市総合計画』①

- 都市の形 水と緑が魅せる心豊かな庭園都市
- 都市の使命 中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市

都市の形

水と緑が魅せる
心豊かな
庭園都市



豊かな水と深い緑という岡山の持つ特性をいかし、そこに暮らす人々が美しく心輝いていく都市を創造していきます。

都市の使命

中四国をつなぐ
総合福祉の
拠点都市



高度な医療、先進的な福祉、伝統と厚みのある教育。これを総合化し、さらに力を高め、中四国、さらに西日本圏域の発展とそこに住む人々の幸せに貢献する都市を創造していきます。

7つの柱でめざす
都市像を実現

●都市づくりの基本方向●

- ① 多様で豊かな環境をいかす
- ② 街と田園のかたちを明確にする
- ③ 安心していきいきと暮らせる岡山型福祉を組み立てる
- ④ 自立し自己実現できる人間力を育てる
- ⑤ 市民力で新しい岡山をつくる
- ⑥ 岡山の強みをいかした産業を広げる
- ⑦ 文化力で岡山の誇りを高める

都市ビジョン『新・岡山市総合計画』②

- 7つの柱からなる都市づくりの基本方向のもとに24の政策(プロジェクト)を体系化

1 多様で豊かな環境をいかす

- 1 水と緑の都市プロジェクト
- 2 自然との共生プロジェクト
- 3 環境先進都市プロジェクト
- 4 資源循環社会構築プロジェクト

2 街と田園のかたちを明確にする

- 1 コンパクト市街地と田園の共生プロジェクト
- 2 生活交流都心創生プロジェクト
- 3 安全な都市基盤プロジェクト
- 4 人と環境にやさしい総合交通システムプロジェクト

3 安心していきいきと暮らせる 岡山型福祉を組み立てる

- 1 ユニバーサル社会プロジェクト
- 2 最適な健康医療システムプロジェクト
- 3 福祉の総合支援プロジェクト
- 4 安心の子育てプロジェクト

4 自立し自己実現できる人間力を育てる

- 1 岡山っ子育成プロジェクト
- 2 教育環境づくりプロジェクト
- 3 生涯学習プロジェクト

5 5市民力で新しい岡山をつくる

- 1 安全・安心な地域づくりプロジェクト
- 2 未来につながる交流プロジェクト
- 3 パートナーシップによる都市経営プロジェクト

6 岡山の強みをいかした産業を広げる

- 1 強みをいかした産業育成プロジェクト
- 2 コンベンションシティ構築プロジェクト
- 3 安全で豊かな食産業プロジェクト

7 文化力で岡山の誇りを高める

- 1 魅せる歴史と文化プロジェクト
- 2 生活に文化を楽しむプロジェクト
- 3 岡山の光を発信するプロジェクト

平成22年度一般会計当初予算

- 一般会計の当初予算額は2,413億円余、5.8%増
- 子ども手当等の福祉関係経費が大きく伸びたことにより、予算規模が拡大

当初予算規模の推移



主要な施策

- ◇多様で豊かな環境をいかす **10.9億円**
緑のボリュームアップ、住宅用太陽光発電システム等導入補助事業 など
- ◇街と田園のかたちを明確にする **31.1億円**
西部新拠点地区まちづくり構想の策定、地域防災計画の改訂、消防施設設備整備事業 など
- ◇安心していきいきと暮らせる岡山型福祉を組み立てる **62.8億円**
(仮称)岡山総合医療センター整備事業、乳幼児医療費助成事業、心身障害者医療費助成事業 など
- ◇市民力で新しい岡山をつくる **1.3億円**
安全安心ネットワーク活動支援事業、区づくり推進事業
- ◇岡山の強みをいかした産業を広げる **2.1億円**
産業振興ビジョン策定事業、新規就農者等育成事業、おいしい岡山米PR事業 など

今後の主要な施策①

◇緑のボリュームアップ6万本

市民の皆さまとの協働で、既存の道路はもちろん、新設道路、公園など、**都心の緑化を推進**し、安らぎと憩いの空間づくりを構築。

◇操車場跡地を都市ビジョンのシンボルの地に...

日常は**市民の憩いの場**、災害時は**防災拠点となる総合公園**として整備、「**庭園都市**」の拠点を整備。

◇(仮称)岡山総合医療センターの実現

全国初となる、岡山大学との連携で**24時間365日**、誰もが安心して受診できる**岡山ER(緊急治療室)**や保健・福祉・医療連携機能をもった「(仮称)**岡山総合医療センター**」を実現。

◇安全・安心ネットワークの充実強化

防犯、防災、環境美化、地域福祉、健康づくり、人づくりなどを地域のコミュニティで支え合う**安全・安心ネットワーク**を、地域ICTの活用などによって充実強化。行政と市民の皆さまとの協力関係を深めながら、より効果的なシステムに。

◇交通政策の一層の推進

吉備線LRT化の検討、二度の社会実験の成果を踏まえた「**自転車のまちづくり**」のさらなる推進。

◇産業振興・農業振興

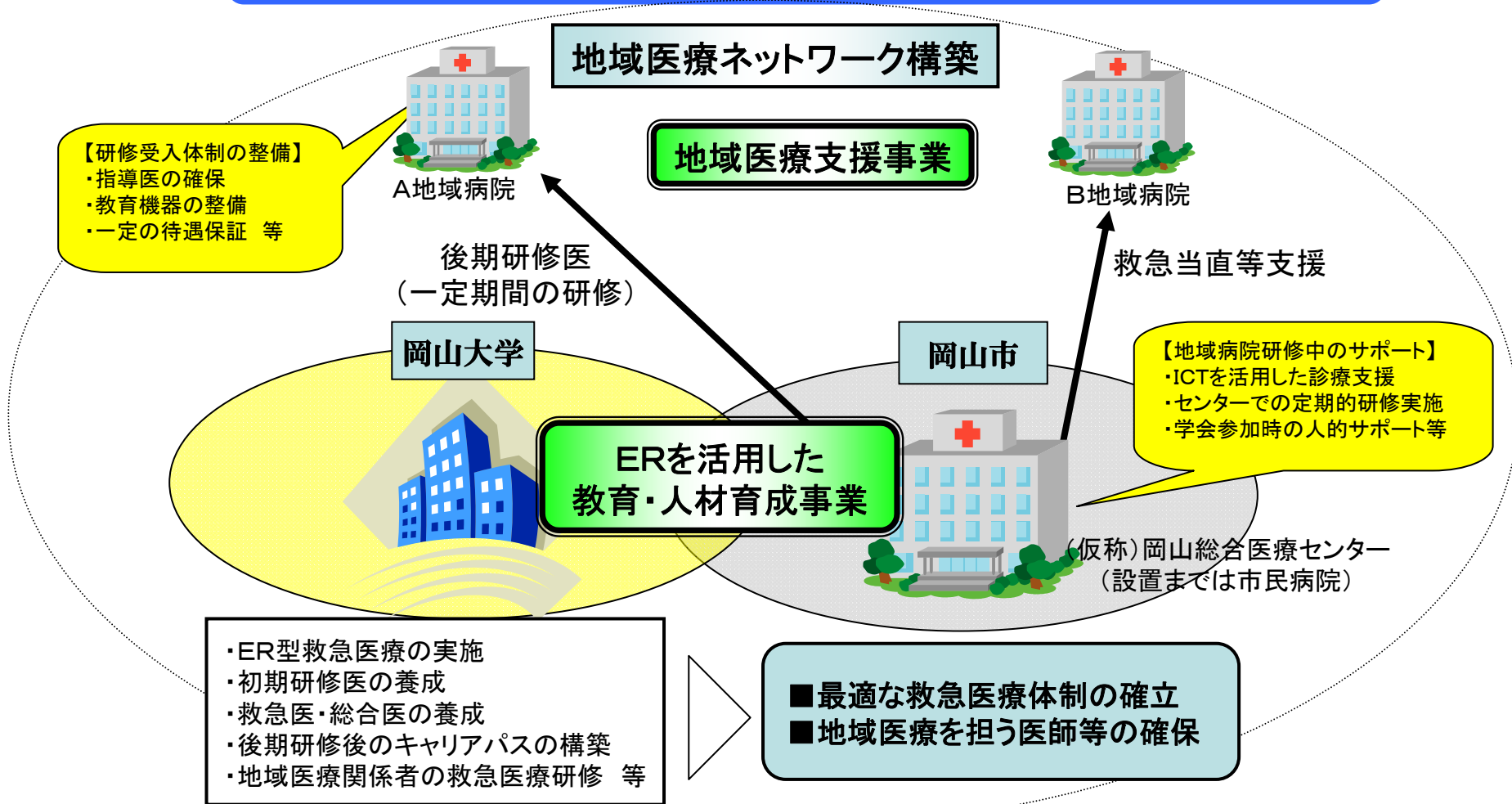
現在「**産業振興ビジョン(仮称)**」を策定中。活力ある地域づくりと市民がゆとりと豊かさを実感できる暮らしの実現。

◇コンベンションシティの体制整備

広域交通の拠点性と、医療・福祉分野の機能集積などをいかしてコンベンションを誘致。

今後の主要な施策②

国立大学と地方自治体の連携による地域医療力向上事業



今後の主要な施策③

■農業振興ビジョン

「晴れの国」の恵まれた気候風土と豊かな水・土・里をいかし、活力ある農業の発展と、消費者にとって安全で安心な「食」を供給する

■岡山市民の食を支える魅力ある農業 生産者のやりがい・消費者の安全安心

- ① 力強い農業 ⇒ 担い手の確保育成 地産地消の推進 ブランド化の推進 など
- ② 安全安心な暮らしを支える農業基盤 ⇒ 農業用施設の維持管理 土地改良事業 など
- ③ 消費者の理解を深める農業 ⇒ 米の消費拡大の推進 食農教育の推進 など

■平成22年度の主な取り組み

- 米消費拡大推進事業：岡山米の良さをPRすることにより消費拡大を図る
- 岡山ブランド農産物育成事業：JA等と連携し、海外県外に農産物をPR
 - 市長自ら海外(台北・香港)へのシティプロモーションの実施
- 農業後継者育成対策事業：就業奨励金の交付、農業サポーター育成事業
- 農地でショッピング事業：消費者が直接農地で果樹等収穫し購入



今後の主要な施策④

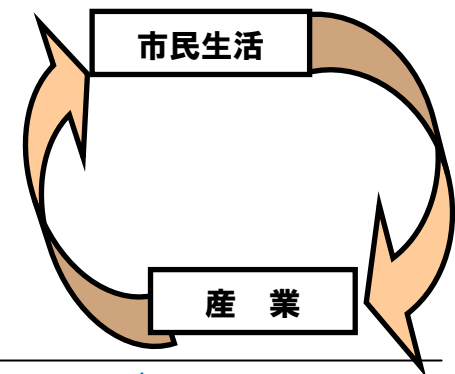
産業振興ビジョンの策定

「都市ビジョン」に掲げる、強みをいかした産業育成を推進するなかで、活力ある地域経済の持続的な発展に向け、限られた財源や人的資源を効果的に活用し、また、関係機関とも連携を図りながら、最大限の効果をあげていくような産業振興に戦略的に取り組んでいく。

- 計画期間：産業振興ビジョン（平成23～37年度）
実施戦略（第Ⅰフェーズ平成23～27年度）
- 基本理念：活力ある地域づくりと市民がゆとりと豊かさを実感できる暮らしの実現
 - ①全国・アジア地域に発信できる産業群を創造する
 - ②市民生活と産業が繋がる自立・循環型の経済サイクルづくりを推進する
 - ③魅力的な商業空間を創出してにぎわいのあるまちづくりを推進する

理念の実現に向けて

- 中堅・大企業が市内の中小企業と共存し、将来にわたり安定的な成長を継続できるよう、総合的な支援に取り組む
- 中小企業こそが地域の経済を支える源泉であることを強く再認識し、施策を推進



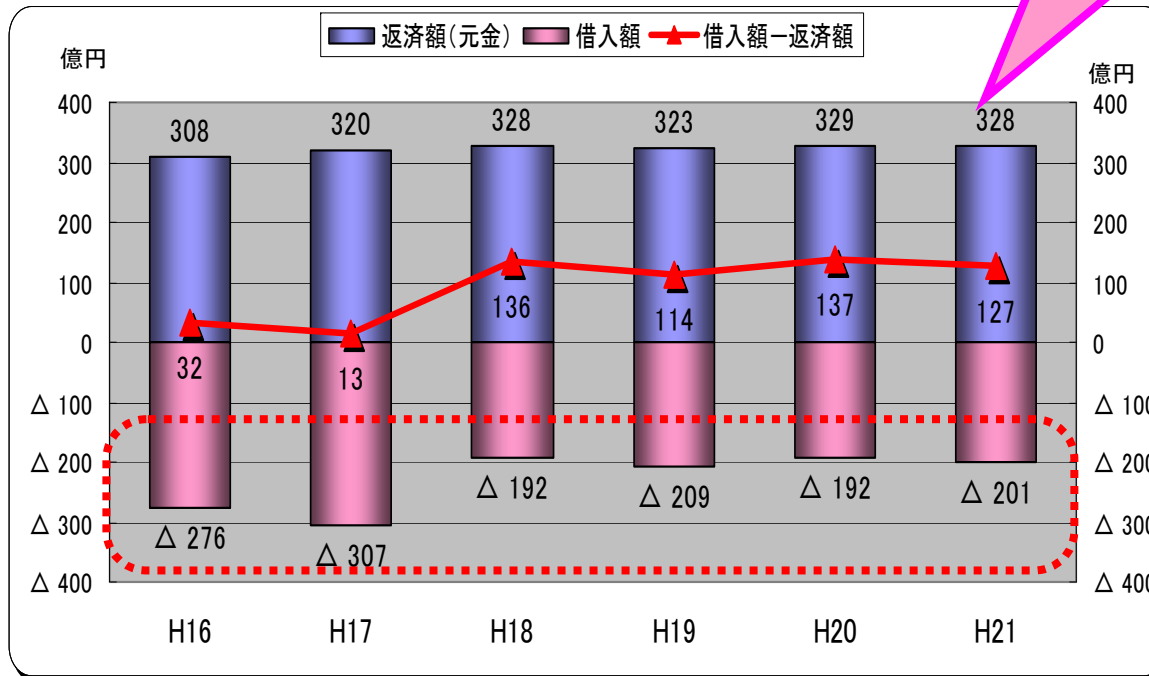
iv 市債発行の方針

- 今後の起債運営
- 市場公募地方債の発行

今後の起債運営

- 平成18年度以降は市債の借入額を大幅に抑制
- 政令指定都市移行による事業規模の拡大後も、借入額を抑制予定

市債の借入額と返済額の推移(普通会計)



借入額<元金返済額
市債残高は減少

借入額の抑制

◇元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた借入額を200億円程度に抑制

公債費特別会計の設置

◇平成21年度より公債費の経理を明確にするため特別会計を設置

市場公募地方債の発行

■ 平成20年度実績

■ 起債銘柄

平成20年度岡山市住民参加型市場公募地方債
(政令指定都市移行・市制施行120周年記念)
『安全・安心おかやま市民債』

- 発行日 平成21年3月5日
- 発行総額 10億円
- 償還年限 5年(満期一括償還)
- 活用事業 西消防署・消防防災センター建設事業、児童相談所建設事業ほか

■ 平成22年度発行予定

■ 起債銘柄

平成22年度第1回岡山市市場公募地方債

- 発行時期 平成23年1月
- 発行総額 100億円
- 償還年限 10年(満期一括償還)
- 活用事業 臨時財政対策債等

■ 平成21年度発行実績

- 起債銘柄 平成21年度第1回岡山市市場公募地方債
- 発行日 平成22年1月29日
- 発行総額 100億円
- 償還年限 10年(満期一括償還)
- 活用事業 臨時財政対策債等



岡山市の未来へ向けて

- 安全で安心して暮らせるまちづくりをめざします
- 都市ビジョン実現のための財源は
行財政改革の断行により確保します
- 10年先、20年先を見据えて、突発的な危機へも
対応できる強固な財政基盤を構築します
- 中長期にわたる健全財政の維持のための
計画的な財政運営をします

お問い合わせ

岡山市 財政局 財政課

〒700-8544 岡山市北区大供1丁目1番1号

Tel 086-803-1146

Fax 086-803-1735

E-mail zaiseika@city.okayama.jp

URL <http://www.city.okayama.jp/zaisei/zaisei/index.html>